

【申込窓口】

右記の Peatix のページから、お申し込みください。 →<https://MaaS2020.peatix.com/>

【申込に関する留意事項】 **申込締切:9月10日(木)**

- 参加の際には、資料代として 1,000 円を申し受けます（事前支払）。チケット購入には、クレジットカード・Paypal・コンビニ・ATM が利用できます。
- 参加定員は 90 人です。定員に達しましたら受付終了となります。
※ ホールの収容人数は 195 人ですが、感染症対策のために入場人数を制限しております。
- 当日のご入場時は、スマートフォンまたは紙印字にて表示された「QR コードの読み取り」による受付を行います。
- お支払後のキャンセルの際には、Peatix システムからの返金対応のみ承ります。この場合、Peatix 既定の手数料が発生しますのでご注意ください。
- セミナー参加中の録画・録音・写真撮影は固くお断りしております。ご遠慮いただきますようお願いいたします。

【Zoom 参加について】

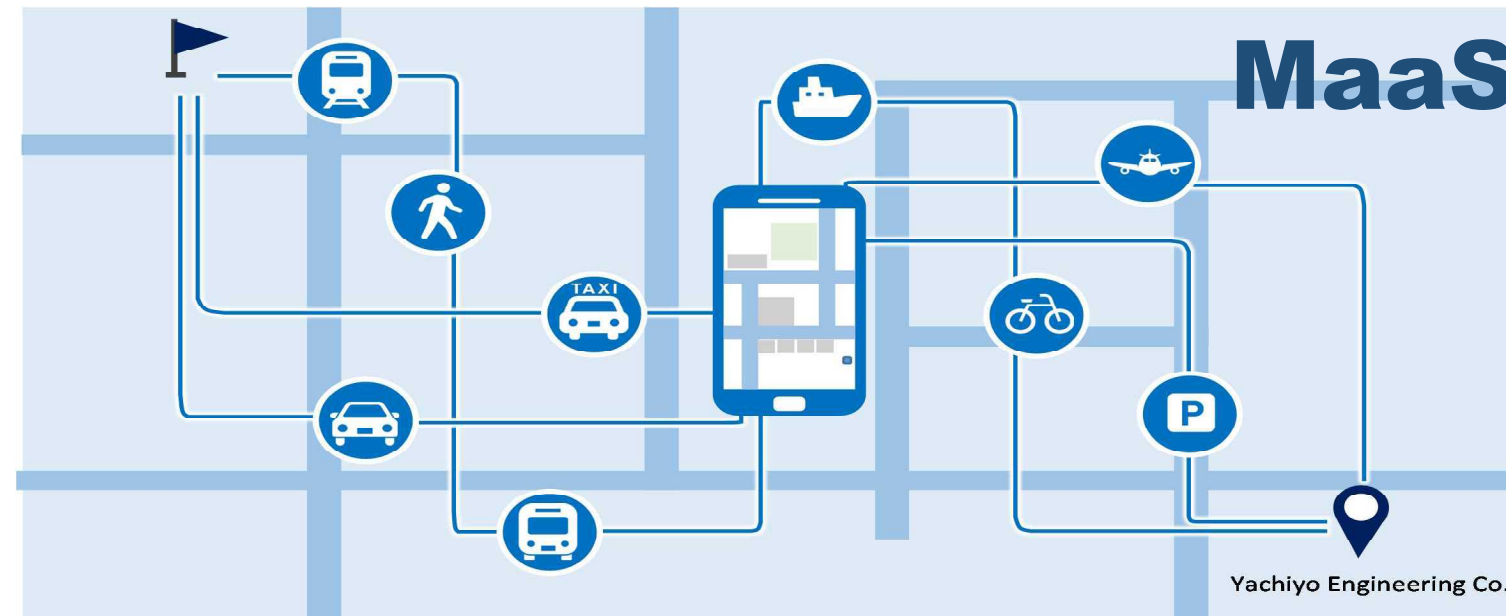
- 現地参加を原則としますが、諸事情により現地にお越しになれない方のために Zoom での参加も受け付けます。
- Zoom ウェビナー形式での参加となります。参加者の画像・音声・お名前は、他の参加者には公開されません。
- Zoom 参加のための技術的なお問い合わせについて可能な限り対応いたしますが、十分に満足いくサポートまでお約束できませんのであらかじめご了承ください。
- 参加定員は 90 人です。定員に達しましたら受付終了となります。現地参加と同様、資料代として 1,000 円を申し受けます（事前支払）。チケット購入には、クレジットカード・Paypal・コンビニ・ATM が利用できます。
- 9 月下旬に、資料発送（郵送）と併せて、ウェビナー参加の事前登録のご案内メールをお送りします。
- 資料発送後のキャンセル（返金）はお受けできません。お支払後のキャンセルの際には、資料発送前に限り Peatix システムからの返金対応のみ承ります。この場合、Peatix 既定の手数料が発生しますのでご注意ください。
- 参加者側の通信環境や機器の不具合によって、音声・映像を十分に届けられなかった場合でも、返金対応は致しかねますのであらかじめご了承ください。参加中の録画・録音・写真撮影は固くお断りしております。ご遠慮いただきますようお願いいたします。

コロナ感染拡大の場合、開催の中止や払い戻しに関しては 9 月中旬以降に別途ご連絡いたします。ご不明な点がございましたら、連絡専用アドレス(稲垣・丹羽・秋山：jigyuu.fukumachi@gmail.com)までメールにてお問い合わせをお願いします。

会場案内・地図



沖縄県市町村自治会館 2階ホール
那覇市旭町 116-37 TEL 098-862-8181 ゆいレール旭橋駅から徒歩 5 分



日本福祉のまちづくり学会・第 23 回沖縄全国大会・研究討論会2

MaaS と地域交通計画 in 沖縄

八千代エンジニアリング(株) スポンサーセミナー

日時

2020 年 10 月 3 日 (土) 13:00 - 17:00

場所

沖縄県市町村自治会館 (ゆいレール旭橋駅下車徒歩 5 分)

講演者

河田 敦弥 国土交通省総合政策局モビリティサービス推進課 課長
西里 雅範 沖縄県企画部交通政策課陸上交通班 主任技師
前泊 博盛 沖縄国際大学経済環境研究所 所長・教授
秋山 哲男 中央大学研究開発機構 教授
菅原 宏明・藤田 光宏・高橋 健二・小篠 耕平
中央大学研究開発機構 客員研究員・八千代エンジニアリング(株)

概要

我が国の地域交通の現状は、民間による地方交通の運営が限界にきていますが、さらに、高齢化に伴う免許返納などによる地域モビリティとしての対応も求められています。加えて MaaS など交通事業者の統合や決済の電子化、自動運転車など新たなモビリティ対策も同時に行わなければならない状況です。このような 100 年に一度の大変革期を迎え、これからの地域交通をどの様に計画するべきなのかを見極める重要な時期です。

本セミナーでは、始まったばかりの MaaS の取り組みや沖縄県のバス交通の活性化に向けた取り組みなどをベースに地域交通の在り方を議論し、その方向性を考えます。

主催：(一社)日本福祉のまちづくり学会 事業委員会 第 23 回沖縄全国大会実行委員会
中央大学研究開発機構、八千代エンジニアリング(株)
後援：国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県(予定)

プログラム

- 日時：令和2（2020）年10月3日（土曜日）
- 場所：沖縄県市町村自治会館 2階ホール（ゆいレール旭橋駅下車徒歩5分）
- 受付：12時30分～

S 開会

13:00 開会挨拶 八千代エンジニアリング(株) 専務取締役 吉兼秀典

S 国内における MaaS の取り組み

- 13:10 日本版 MaaS の推進と地域公共交通のイノベーションに向けて
 1)我が国の MaaS の政策と現在の動向 (30分)
 2)MaaS におけるユニバーサルサービス (20分)
 河田 敦弥 国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課長
- 14:00 鳥取県におけるモビリティ事業の取り組み (15分)
 藤田 光宏 中央大学研究開発機構 客員研究員
 八千代エンジニアリング(株) 道路・交通部 技術第一課長
- 14:15 質疑
 14:30 休憩 (10分)

S 沖縄県の交通政策に関する取り組み

- 14:40 沖縄県のバス交通活性化に向けた取り組み (15分)
 西里 雅範 沖縄県企画部交通政策課陸上交通班 主任技師
- 15:55 大学におけるマイカー通学の実態と課題 (15分)
 高橋 健二 八千代エンジニアリング(株) 道路・交通部 担当課長
- 15:10 質疑

S 沖縄国際大学における新たなモビリティに関する研究

- 15:20 コロナ禍における大学と交通の課題と展望 (20分)
 前泊 博盛 沖縄国際大学経済環境研究所 所長
 経済学部 地域環境政策学科 教授、大学院 地域産業研究科 教授
- 15:40 小型モビリティに対する学生の意識と MaaS への適用可能性 (15分)
 小篠 耕平 中央大学研究開発機構 客員研究員
 八千代エンジニアリング(株) 技術開発研究所 主任研究員
- 15:55 情報共有アプリによるマイカー通学抑制のための実証実験 (15分)
 菅原 宏明 中央大学研究開発機構 客員研究員
 八千代エンジニアリング(株) 技術開発研究所 副所長
- 16:10 質疑

S 欧州の MaaS 先進事例

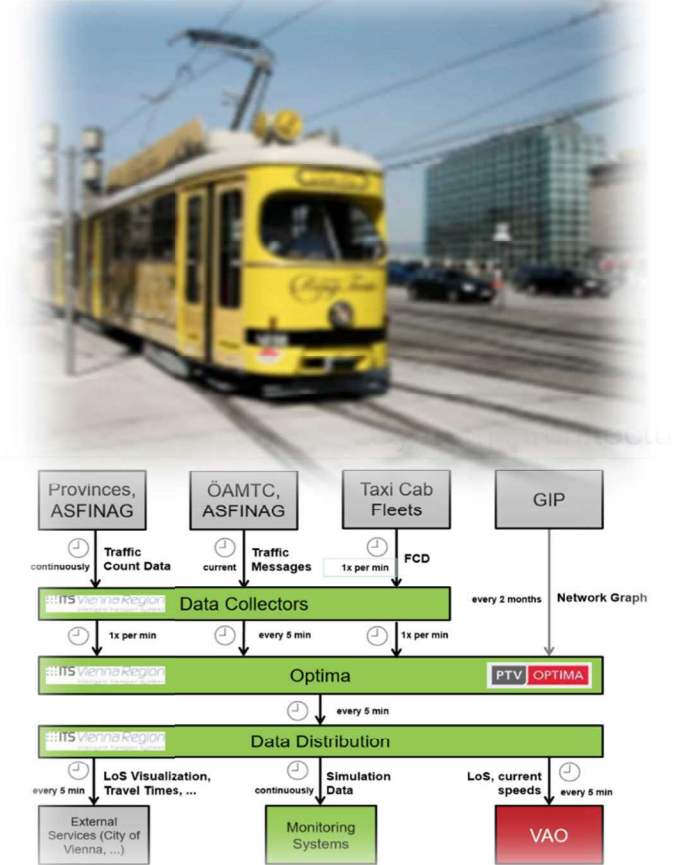
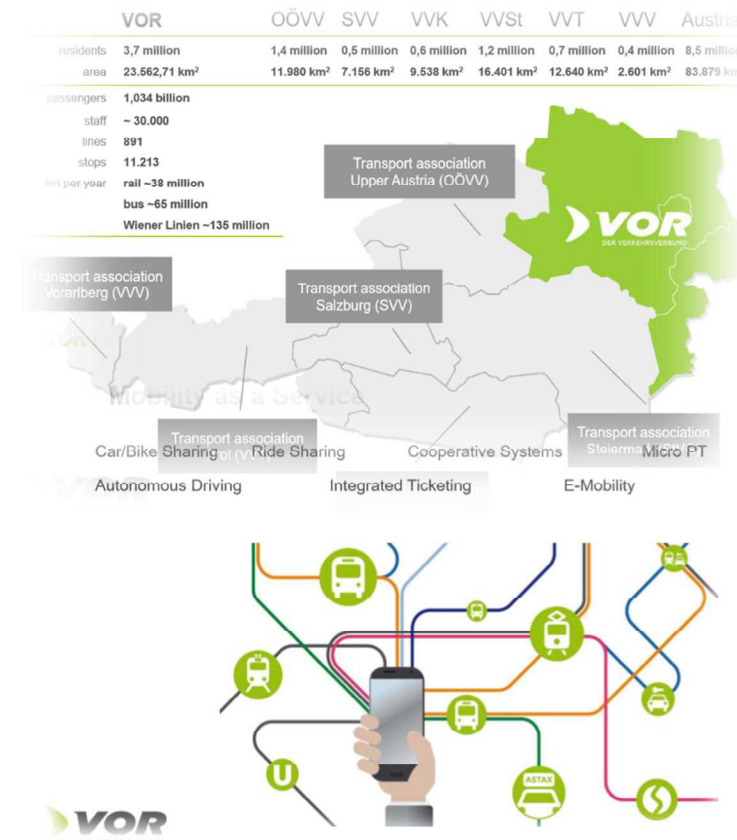
- 16:20 オーストリアから学ぶ日本版 MaaS の方向性 (20分)
 秋山 哲男 中央大学研究開発機構 教授
- 16:40 質疑

S 閉会

16:50 閉会挨拶 中央大学研究開発機構 教授 秋山哲男

オーストリアの MaaS 先進事例から日本の MaaS の展開における課題と方向性を探ります

中央大学研究開発機構では MaaS の先進事例調査としてフィンランドやオーストリア、情報通信技術を用いて様々なサービスを国家レベルで推進しているエストニアに調査団を派遣し、各国の取組に至る背景やデータのオープン化や連携のための仕組み、行政の役割等について調査しました。本セミナーではオーストリアを取り上げ、運輸連合を中心とした交通政策について紹介し、日本において MaaS を展開していく場合の課題を明らかにした上で地域交通計画の在り方について議論します。



沖縄国際大学におけるモビリティに関する研究について紹介

沖縄国際大学では、マイカー通学の需要に駐車場の整備が追いつかず、大学周辺の渋滞や駐車場内での接触事故等の問題が発生しています。モビリティ・マネジメント等の取組を推進してきましたが抜本的な解決には至らない状況です。本セミナーでは、情報の共有によりマイカー通学から公共交通へ転換を促すために現在のモビリティの選択肢を増やす仕組みの研究結果について紹介します。

